

腎臓内科のご紹介

腎臓内科をご存知ですか？

血尿やタンパク尿が続く方や、健診の検尿などで指摘をされた方などは、一度腎臓内科を受診してみませんか？



腎臓内科とは、腎臓に関わる病気を診断、治療する診療科です。

主な対象疾患は、慢性腎不全・ネフローゼ症候群・慢性腎炎などです。

腎臓病は自覚症状に乏しいので、中々自分では気がつきにくいかもしれません。腎臓は糖尿病や高血圧などとも深い関係があり、腎臓機能の低下は薬の効果にも影響を及ぼします。気になる方は早めに腎臓内科を受診しましょう。

腎臓は、握りこぶしくらいの大きさをした、左右一対の臓器です。

腎臓は、心臓から送られた血液をフィルターで濾過し、血液中の老廃物や余分な水分を尿にして排出する役割を果たしています。また、必要なものは再吸収し、身体の状態を一定に保つ役割も果たしています。

腎臓病の患者さんは増え続けています。

慢性腎臓病患者さんは全世界に約5億人、成人の8人に1人が腎臓病であるというデータもあります。

そして現在、日本には重度腎臓病のために透析療法を受けている患者さんが約30万人もいるのです。

腎臓病は、とても身近な病気です。早期発見、早期治療がなによりも大切。

当院には、毎週火曜日9時～12時半、[腎臓内科専門外来](#)があります。

ご興味のある方は、[腎臓内科 佐藤（医師）または看護師](#)へお問合せ下さい。